

卷末資料－2 報道資料

中市)の町営製菓会社、花二

NTT西とキメツク

2000年12月

NEC、神戶製鋼所、神戸市などが共同出資する情報技術(ITT)ビジネス向成会社のキメック(神戸市、佐藤製作所)とNTT西日本はそれぞれ、来年初めから神戸市営バスの一環路線で非接触型ICカードや



無線データ通信などを利用した公共交通機関の高度情報化の実証実験を始める。モデル自動車でテスト運転を開始。来年度以降はバスに拡大する計画だが、バス路線での本稼働型「Jカード」の実証実験は今度も初め。

「接触型」ICカードは、乗客が車内に設けた読み取り機にカードをかざして、あらかじめカードに蓄えられた金額から乗車料を引き落とすという仕組み。

~~~~~

非接触型ICカードの導入  
実験がバス路線で行われる

「デマンドバス」  
大阪・岬で実験

圖文省

国土交通省は七日、大阪府岸町で、利用者の求めに応じて臨時運行する「デマンドバス」の実験をすると発表した。一定のゾーン内

で路線を決めずに運行し、大阪府内に走る基幹バスに接続。公共施設からバスを予約し、同時に配車指示するシステムなどを機能させる。国が実務を担当し、二〇〇一年度内に実験を終える予定だ。

## NTT西労組

取り扱いやサーバーの設置、バスと市交差路やバスセンター、駅前所などを結ぶ情報ネットワークの構築など主に情報インフラの部分の研究対象にする。余田球非位システム(GPS)でバスの位置や渋滞状況を知らせ、ICカードの料金情報を讀取して乗降履歴などを把握する。

NTT西日本は主にコンテナツ(情報の内容)を研究対象にする。乗客メーカ

また労働組合は西日本本部（石原史朗委員長、組合員数約七万八千八人は七日、鳥取県米子市での定期大会で、N・T西日本を中心とする組織再編案を受け入れる方針を決定した。この結果、西日本地区のグループは約六万人を米春をめどに組織・再編用や出向の形で地域会社などに移管する





## 岬町の「ミニループバス」運行1年

# 利便性向上へ試行錯誤

府最南部の岬町を料金ゼロの「ミニループバス」が走り始めて、ほぼ一年になる。南海電鉄系のバス会社が撤退したあと、町の申し入れを受けて、別のバス会社が運行するようになった。改正道路運送法が一月から施行され、赤字路線の切り捨てが心配されるなか、お年寄りの足として歓迎されている。利用者が、希望時刻に最寄りのバス停まで電話で呼び出せる「デマンド運行」の実験も始まった。

(青野 達哉)

和歌山県境に近い、岬町多奈川谷川の健康ふれあいセンター「ピアツァ5」。イルカの絵が描かれた真っ赤なバスが着くと、お年寄りたちが降りてくる。風呂やプール、カラオケでの触れ合いを楽しみに訪れた人々だ。

バスを運行しているのは中日バス(本社・三重県四日市市)。基本路線は、北東部の渡輪地区から町役場を経て、西部のピアツァ5や多奈川小島地区を結ぶ町内横断ルート。一日に約二十往復する。ほかに、山間部と町の中心部なるを結ぶ路線も二本ある。

南海電鉄系のバスが走っていたが、昨年三月、「採算が合わない」として撤退した。そこで、町が探し出したのが、岬市西部の工場で主に従業員を送迎などをしてきた中日バスだった。

町の人口約一万八千人。六十五歳以上の比率が21.1%と高

そして今  
大阪ニユース検証

## 「町に欠かせぬものに」



ピアツァ5からミニループバスに乗り込む人々(岬町)

齢化が進む、いわば都会の過疎地。「マイカーを運転しないお年寄りや主婦の生活の足が奪われる」。そんな危機感から、町は年間三千万円の補助金を出すことで、バス会社の負担を取り付けた。

改正道路運送法で、路線バス事業への参入や撤退の条件は緩和された。新規参入が容易になる反面、採算が割れれば、これまで以上に撤退しやすくなることから、過疎地のバスや赤字路線の先行きが各

改正道路運送法で、路線バス事業への参入や撤退の条件は緩和された。新規参入が容易になる反面、採算が割れれば、これまで以上に撤退しやすくなることから、過疎地のバスや赤字路線の先行きが各

改正道路運送法で、路線バス事業への参入や撤退の条件は緩和された。新規参入が容易になる反面、採算が割れれば、これまで以上に撤退しやすくなることから、過疎地のバスや赤字路線の先行きが各

境で懸念されている。  
「うちは、全国より早く、その心配が現実となったといふこと」と岬町住民生活課の保井太郎係長(44)は話す。  
一方、事業の多角化を目指す中日バスは、路線バス事業への本格参入の実績づくりにと取り組んだ。同社大阪堺支店の山田哲也さん(34)は「収益面ではまだ苦しいが、営業努力を重ね、町に欠かせない交通機関として提供がせたい」と、将来は一日千人以上の利用を目指している。

こうしたなか、基本路線以外の三路線を対象に、二月から新たに始めたのがデマンド運行。より便利で、より効率的な運行方法を模索するための実験だ。  
「一日の目ざす、特に便利。外出する仲間も増えた」とミニループバスの運行を喜ぶ利用客の大西正史さん(76)も、デマンド運行については「バスの時刻に合わせて用事を済ます方が多い」と言う友人も多いという。

利用客にとっては、定時に、短い間隔で運行されるのが一番いい。それは確かだが、採算面でもっとも難しいところだ。  
町は二月からデマンド運行の方法を改め、乗り換えなしでどこへでも行けるようにした。それまで、行き先によっては町役場で乗り換える必要があった。

少しでも利便性の向上を図る。住民の足を守るための、試行錯誤が続く。

## 生活環境

### ◆平成14年・15年度 岬町美化センターごみ 処理施設運営委託業務 要領の配付について

岬町の指名業者登録をされている業者の方を対象に、平成14・15年度岬町美化センターごみ処理施設運営委託業務について要領を配布します。入札参加希望の業者は技術資格要件等の詳細について記載していますので下記のとおり受領してください。

#### ▶ 要領配布期間

1月7日（月）～31日（木）

※但し、正午～午後1時を除く役場執務時間内に限ります。

#### ▶ 要領配布場所

住民生活課 生活環境係

（郵送不可）

#### ▶ 問合せ 住民生活課 生活環境係

（内線265）

### ◆路線バスのデマンドバス 実証実験の実施について

平成14年2月～3月までの2カ月の期間で、岬町内の路線バスの実証実験を行います。この実証実験は、国土交通省が新しい公共交通を研究するもので、（株）東芝が中心となって同社が開発したものを中日臨海バス（株）のバスに設置して運行実験をします。利用については次の方式を予定しています。

●淡輪・畑路線、多奈川西畑・東畑路線、孝子路線は、デマンドバス（呼出しバス）方式により2台の小型バスで運行します。

●デマンドバスは岬町役場を境に、東エリア（淡輪・深日）と西エリア（深日・孝子・多奈川）の2つの地域でエリアを分担して運行します。

●デマンドバスの利用は電話で「乗

### 1月の粗大ゴミの受付は次の地区が対象です。

淡輪地区 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・  
11・12・13区

孝子地区 上孝子・中孝子・下孝子

○粗大ゴミ受付センターへ1月19日（午前中）までに電話でお申込みください。

☎92-6408

○受付期間は平日 午前9時～正午 午後1時～5時

第1土曜日 午前9時～正午

第3土曜日 午前9時～正午

○日曜日、第2土曜日、20日以降は受付していません。

○収集は、2月に伺います。

住民生活課 生活環境係

る時間」と「バス停」を予約します。

●予約時間は午前9時～午後4時までを予定しています。

●デマンドバスの運行時間は概ね午前11時～午後4時までです。

●デマンドバスは固定ダイヤより運行本数が増加します。

●基本路線は現行どおりの30分毎の固定ダイヤで運行します。デマンドバスから乗換えることで東西エリア間の移動が可能です。

●実験期間中は、小田平集会所、緑ヶ丘住宅、府営住宅にバス停を設けます。

デマンドバスは、自分の利用したい時間に合わせて電話で予約すれば、バスはそれに近い時間に運行されます。自分の予定に合わせてバスに乗る事ができますので、積極的に利用していただき、ご意見をお聞かせください。詳しい内容は、別に利用者リーフレットを作成して配付する予定です。

今回の実証実験で得られた成果は、国土交通省が全国の交通不便地域等における対策に役立てていくものですので、ご理解をお願いします。

（株）東芝、中日臨海バス（株）、岬町住民部住民生活課

## 関空News

関西国際空港・アウトレット  
の無料シャトルバスが運行  
を開始しました

▶ 運行日 土曜・日曜・祝日

▶ 所要時間 約20分

▶ バス停・出発時刻（1日8往復）

【関西空港発】

○エアロプラザ横・展望ホール行き  
バスのりば 毎時55分発  
（始発10:55 終発17:55）

○旅客ターミナル前・9番バスの  
りば 毎時00分発  
（始発11:00 終発18:00）

【プレミアム・アウトレット発】

○団体バス駐車場内 毎時30分発  
（始発11:30 終発18:30）

▶ 無料乗車券の配布場所

【関西空港】

○エアロプラザ・タカシマヤ2階  
サービスカウンター

○旅客ターミナル前・9番バスの  
りば

【プレミアム・アウトレット】

○1階インフォメーション

▶ 問合せ 関西国際空港（株）

広報課 ☎55-2201



平成14年1月26日  
資料提供

関西国際空港記者会

デマンドバス岬町実証実験事務局  
岬町・中日臨海バス(株)・(株) 東芝  
TEL: 0724-94-1110

大阪府泉南郡岬町役場  
住民部住民生活課生活環境係: 保井  
TEL: 0724-92-2001 (代表)

## 「みさき・ふれあいDバス」が運行します！

### 岬町内の既存山間部3路線がデマンド運行に変わります

利用者からの電話予約によってデマンド運行する「みさき・ふれあいDバス」の実証実験が今年2月1日から始まります。岬町内を運行している4路線のうち、山間部を走る3路線でデマンド運行が実施されます。

岬町では昨年の3月まで南海バスが運行していましたが、平成14年2月からの乗合バス事業の需給調整規制廃止を前に撤退しました。これを機に、併せてピアッツア5の町営の送迎バスを見直し、平成13年4月から新たに中日臨海バスが岬町の補助を受けて、従来の南海バス路線とピアッツア5送迎路線を網羅する4路線をワンコイン（100円）で運行しています。平成13年度国土交通省が実施する「交通不便者のシビルミニマム確保のためのデマンド交通システムのモデル実験事業」の支援を受けて、「みさき・ふれあいDバス」を平成14年2月1日から3月末まで運行します。本実験事業は、交通利用環境の改善や交通不便地域における交通弱者対策など、より一層の利用者の利便性向上を目指し、全国5地区でこの実験事業を実施するもので、その1地区として岬町が選定されました。岬町では、平成14年2月1日から、約2ヵ月間行なわれ、利用状況や利用者からのアンケートを基に評価・運行のあり方などの検討を行ないます。既に、岬町自治会回覧により町民皆様への告知とモニター募集（30名）をしており、問い合わせやモニター募集の申込を多数頂いております。

現在、岬町では中日臨海バス(株)が府道をメインとした基本路線（1路線）と山間部を走行する淡輪・畑路線、孝子路線、多奈川西畑・東畑路線の3路線を運行しています。基本路線は朝の通勤時間帯を除き、30分に1本の割合で運行していますが、山間部の3路線は1日に3往復程度の運行をしています。この3路線はハイエース車両（11人乗り）2台を使って、昼間に固定ダイヤで運行しています。今回の実証実験期間中では、この3路線を10時40分から15時50分までデマンド方式で運行します。デマンド方式では、利用者からの電話予約による運行となるので、これまで1日に3往復と決められたダイヤでのバス利用が、自分の希望に近い形でバスを利用することが可能です。岬町には、町の西側に位置する町営のピアッツア5という健康ふれあいセンターがあり、温水プールや大浴場、カルチャースクールの場として、高齢者や主婦に広く利用されています。利用調査の結果、現状の3路線の利用者は主にこのピアッツア5を利用する高齢者ということが判りました。バスの利便性の改善で、より多くの高齢者の方に利用して頂ける可能性があります。この「みさき・ふれあいDバス」の利用状況から、主婦層や高齢者にデマンド方式が受け入れられるかを分析し、住民の文化的生活及び町の活性化の促進に寄与できるものかを検証していきたいと思っております。

以上